東高同窓会だより

〈第7号〉

長崎東高等学校　関西同窓会

平成30年（2018年）
4月20日発行
編集発行人：手嶋　孝

◆◆　第6回総会・懇親会の報告　◆◆

第６回総会・懇親会は１１月１９日（日）１３時より、大阪新阪急ホテルにおいて１１４名の出席者のもと盛大に開催されました。

第一部の総会では、事務局長の泉田さん（２４回生）から同窓会活動と２０１６年度会計についての報告があり、続いて今年度の予算案と平会長（１５回生）の再任の提案があり、いずれも満場の拍手にて承認されました。

第二部の懇親会では、まず関西同窓会平会長から寄付の御礼と関西同窓会への参加の呼び掛け、長崎東中学校・高等学校の平山副校長からは母校の近況報告と来年７０周年記念のキャッチフレーズとシンボルマークが決定したことの紹介、関西大阪長崎県人会塚本会長からは祝辞と「ふるさとの繁栄に協力しましょう」との呼び掛けがありました。続いて、テーブルごとに自己紹介タイム。そして、長崎東高同窓会副会長松尾様（２４回生）のご発声による乾杯。美味しい料理とお酒を踏まえての歓談。長崎弁丸出しのおしゃべりは尽きることがありません。

今年の新しい試みとして、各同好会の活動をナレーション付きスライドショーで紹介。更に新企画「世代別想い出の歌」。１９回生世代は男女学生服姿も混ざって「高校三年生」を熱唱。２５回生世代は「あの素晴らしい愛をもう一度」の大合唱で盛り上がり、３７回生世代は振付ありの「涙のリクエスト」。若々しいダンスは圧巻で会場は大いに盛り上がりました。

その盛り上がりは次のじゃんけんチー大会へ。賞品目指して力の入った勝ち抜き戦、永尾さんと藤重さん両２７回生の巧みな司会進行も相まってもう一段ヒートアップ。賞品をゲットした人は、みんなの羨望を受けて満面の笑み。

最後は全員が肩を組んでの校歌斉唱はち切れんばかりの歌声はまさに学生時代そのものでした。２時間半の集いはあっという間に過ぎてしまいましたが、みなさんの心に東高の、そして今回の思い出が永遠に残る楽しいひと時でした。来年の再会を期してお開きとなりました。（２３回生　手嶋記）

◆◆　今年度（第7回）総会の案内と寄付のお願い　◆◆

今年度（第７回）総会の日程が決まりました。
日時：１１月４日（日）１３：００～１５：３０
場所：大阪新阪急ホテル（例年通り）

皆様のご参加をお待ちしております。
学生時代のこと、友達のこと、そしてふるさと長崎のことを総会で長崎弁で大いに語り合いましょう！
関西圏外からの参加も大歓迎です。

関西同窓会の運営費用は寄付金によって賄われております。
皆様の温かいご支援を宜しくお願いいたします。
同封の振込用紙をご利用頂けば、振込料はかかりません。
また、当日総会会場でも随時受け付けております。

寄付金一口：１，０００円～
（何口でも結構です）
お振込の際は、氏名の前に回生数のご記入を
記入例　２３　テシマ　タカシ

◆◆ さるく会 ◆◆

第39回「大阪・住吉大社さるく」　１月２８日（日）　２７名
今年最初のさるく会は住吉大社の初詣。天王寺から熊野街道を歩き安倍晴明神社へ。続いて、鎌倉末期から南北朝時代の武将、北畠顕家公園で暫しの日本史談義。懐かしい路面電車（阪堺電車）を利用して住吉大社へ。太鼓橋で記念撮影後、国宝指定の本殿（第一本宮から第四本宮の４棟から成っている）にお参りしました。見所やパワースポットも多く、皆さん沢山の運気を授かって大満足の様子。反省会も大いに盛り上がりました。

第40回「京都・東山さるく」　　２月２５日（日）　　３３名
京阪祇園四条駅に２３名が集合。全コース約４．５ｋｍ。
八坂神社（通称、祇園さん）からスタート。高台寺公園まで移動。昼食後八坂の塔の重厚な五重塔を眺めながら、二年坂、産寧坂、さらに清水坂を上がって清水寺門前へ。この付近は着物姿の外人観光客が目立ちます。仁王門をくぐり、清水寺を拝観。今は５０年に一度の改修工事中。次のポイントの六道珍皇寺へ。最後は、歓喜踊躍念仏のあの空也上人が開設した六波羅蜜寺。解散後は円山公園の其中庵で反省会。２月の京都をたっぷり楽しんだ一日となりました。

第41回「舞子・垂水さるく」　　３月２５日（日）　　２６名
JR舞子駅に２４名が集合。全コース約３．６ｋｍ。
明石海峡大橋が見える駅前広場を出発し「橋の科学館」へ。３D映像や１／１００模型で橋建設の技術を学びました。風速６０ｍの強風が吹くと最大３０ｍも橋げたがずれる事や阪神淡路大震災で主塔が１ｍずれて建設されたこと等を知りました。次は海面からの高さ４７ｍにある「舞子海上プロムナード」。ガラス張りの床は迫力満点！
昼食後は孫文記念館、舞子公園、五色塚古墳を散策。「初の海岸さるく」を満喫！

＜２０１８年の年間計画＞各回の計画の詳細は、事前にホームページにてご案内いたします。

開催日	地区	コースポイント
1月28日	大阪	住吉大社、安倍晴明神社他
2月25日	京都	八坂神社、清水寺、六波羅蜜寺
3月25日	兵庫	舞子、橋の科学館、五色塚古墳
4月22日	滋賀	彦根城、
5月27日	奈良	生駒山、宝山寺他
6月24日	京都	太秦、広隆寺他

開催日	地区	コースポイント
7月22日	兵庫	清盛の遺跡、大和田泊他
8月26日	大阪	サントリー山崎工場他
9月23日	奈良	藤原京跡、元薬師寺跡他
10月28日	滋賀	安土城跡、信長の館他
11月25日	大阪	箕面公園、箕面ビール他
12月16日	兵庫	宝塚、手塚治虫記念館他

◆◆ 関西ナイスショット＆ファーの会 ◆◆

３月３１日に天理ゴルフ倶楽部にて第９回「関西ナイスショット＆ファーの会」を開催しました。
今回は、初参加の永尾さん（@９）、芳田さん(@４２)を含む３組１１名でのコンペとなりました。
優勝は実力者の多田さん、準優勝は松尾さん、３位は長岳さんの結果となり、春爛漫の絶好のゴルフ日和とあって、リラックスし和気藹々と一日懇親ができました。

＜優勝コメント（多田さん）＞
　やっと優勝することができました。事前の組合せを見て、高校時代バスケットの先輩佐藤さんと一緒に回れると楽しみにしており、当日は泉田さん、芳田さんとメンバーに恵まれ良いゴルフができました。また、色々と賞品（優勝、ニアピン賞）も頂き、本当にありがとうございました。
次回（秋）も是非参加したいと思います。

次回は秋（１０月頃）に開催を予定しております。ＨＰにも案内を掲載して行きますので、皆様奮ってご参加ください。

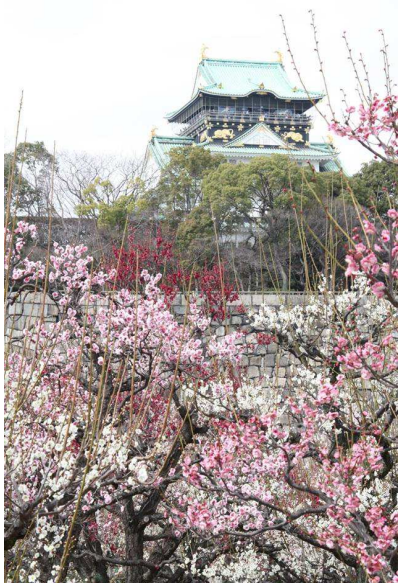
◆◆ 写真クラブーミニ撮影会 ◆◆

快晴の３月４日、写真クラブ初めてのミニ撮影会＆ミーティングを大阪城を中心に実施しました。参加者は７回生から３６回生までの６名。まずは大阪城梅林での撮影会。参加者はそれぞれ満開の梅を思い思いに撮影。観光客が溢れる中、各人手応え十分といった表情が印象的でした。（作品は写真クラブのホームページでも確認ください！）

そして近くのレストランでのランチ＆ミーティング。おいしい料理とビールでおしゃべりも弾み、クラブの活性化や運営方法の見直し、会計報告などたくさんの意見交換ができました。気づいたら３時間も経過！写真クラブはネット中心に運営しただけに、会員同士が初めて顔を合わせたミニ撮影会＆ミーティングは大成功。

次回の撮影会＆ミーティングは６月３日（日）、花博記念公園鶴見緑地です。詳細は関西同窓会のWEBサイトで案内予定。会員以外の参加も大歓迎。
入会希望も含めたお問い合わせは福地（090-7350-5817）までご連絡下さい。

http://eastkansaiphoto.sakura.ne.jp/
（長崎東写真クラブでも検索できます）



◆◆ 地域活動 ◆◆

奈良地区懇話会の名称を『ばってんまほろば会』に変更しました！

１月１３日（土）、奈良地区懇話会の新年会を実施しました。
当日は１２名の参加。近況報告や西山校舎のこと、健康のことなど時間はあっという間に過ぎてしまいました。

またさるく会に参加するというううれしい話も！

最後に会名を一新しようということで、奈良とふるさと長崎を思い起せる**「ばってんまほろば会」**を満場一致で決定。

まさに新たな門出の新年会になりました。

（19回生 福地 記）

◆◆ 同期会 ◆◆

25回生

“Good to see you again”

３月１８日、１９７３年３月の卒業から４５年、関西同窓会の２５回生・老々男女が大阪・梅田に集合しました。昨年の関西さるく会皆勤賞のお姫様筆頭にさるく会常連達、久し振りのメンバーも。

乾杯で始まった宴は、同期生ならではの想い出話、近況など話が尽きることはありませんでした。『そげんこと　よう覚えとったね』、『あんひと 可愛かったけんね』等々。

誰かが持ち込んだ卒業アルバムを開いた瞬間、『45歳も若返った』と言ったお姫様や、食い入るようにアルバムを覗き込むお殿様もいて、美味しい料理・美味しいお酒でいっぱいの会場が高校時代にタイムスリップした空間となりました。

関西にはまだ多くの同期生がいて、『もっと沢山で集まろうね』『皆で声掛け逢おう』と誓い合いました。

表題の訳は**“また会えて嬉しい”**ですが、
“Long time no see(久し振り)”よりも良い響きだと思いませんか。そんな２５回生初めての同期会でした。（松﨑記）

★☆　活躍する同窓生　☆★

今回は、京都府城陽市在住の山口隆雄さん（１３回生）を紹介します。

山口さんは１９６５年に九州大学工学部を卒業され、立石電機（現、オムロン）に入社。主に研究開発部の部長・参与として職務を全うされました。会社の主力工場が琵琶湖の近くにあったことから、入社当初より琵琶湖に興味を持つようになり、その４００万年前に遡る誕生の軌跡や琵琶湖周辺の縄文遺跡について長年にわたり調査・考究を続けてこられました。（下記の著書の著者紹介から引用）

＜所属学会、協会＞日本陸水学会、考古学研究会、(財)日本エスペラント協会、歴史街道推進協議会、歴史街道倶楽部

＜所属認定NPO法人＞びわ湖トラスト、緑の地球ネットワーク

以下、山口さんからの寄稿です。

びわ湖で遺跡調査

中国で植樹活動

関西同窓会の１１月総会には毎年参加していまして、全員で校歌斉唱する時は気持ちが熱くなります。私は定年退職後、仕事から離れて「琵琶湖」をテーマに本を書いていまして、これまでに下記の３冊を出版しました。この「もの書き」に併せて、琵琶湖関連で学会やＮＰＯ活動もやってきました。本を書くにあたっては、会社で実践したように「現場・現物」を第一に、何しろ、私の強みは「３６５日フリー」ですので、いつでも、どこへでも飛び込んでいくのをモットーにしています。

世界でも、辺境の地（ロシア・シベリヤや中国奥地など）を訪ねたり、琵琶湖周辺でも山奥（クマ、シカ、サル、イノシシも出没）にも行きました。本を書く一番の喜びは、私の現地調査と最新の科学的知見、歴史調査資料を結び付けて新しい発見があった時です。

私は本の内容については、学者、専門家が書けないもの、質的にもそれ以上のものを目指していますので、１冊書くのに４～５年位かかります。本の構成でも、見開き２ページ毎に読者が「これほんまかいな？」、「おもしろい」、「これ、すごいかも」と感じてもらえるようにしています。私が本を書く中で一番感動したのは、現地調査で「私たち日本人のルーツである縄文人の心豊かな生きざま」を強く感受できた時でした。著者としての喜びは多くの皆さんに読んで頂くことで、孫の世代まで長く読んでもらうことを念頭において書いています。現在、私の本は全国約２２０の図書館（公立図書館、大学、高校等）にも蔵書されており、毎日どこかで皆さんに読んでもらっています。また、本の執筆の他に、びわ湖ＮＰＯ活動では湖上で小学生への環境教育等も行っています。

びわ湖で子供教育

下記の著書に、これまでの調査・考究の成果と山口さんの思いが詳しく書かれています。ぜひご一読を！

＜著書＞　「ダイナミックレイク琵琶湖から世界へ」2013年第1版、2014年第2版増刷

「De Dinamika Lago Biŭa al la mondo」(翻訳本・世界版)2016年

「びわ湖葛籠尾崎(つづらおざき)湖底遺跡の謎を解き明かす」2017年

◆◆　母校創立70周年記念同窓会記念事業の紹介　◆◆

昭和２３年、新制高校として新発足した母校長崎東高は本年１１月１日、創立７０周年を迎えます。
同窓会ではさまざまな記念事業を計画しています。
今後長崎から情報発信がなされますが、主な行事を紹介します。

（１）記念総会・懇親会
平成３０年１０月２８日(日)　１３時　於：ホテルニュー長崎
４３・４４回生を当番幹事として鋭意準備が進められています。
関西同窓会のみなさんも参加してはいかがでしょうか。

（２）記念美術展（東高ゆかりの方美術展）
平成３０年１０月３０日～１１月４日　於：長崎県立美術館

（３）記念誌（東高沿革史）の発行

（４）長崎東高等学校創立７０周年記念募金の募金活動
在校生に対する奨学支援として「未来人材育成基金」を造成するための募金活動。

羽ばたけ！「ひがし」から世界へ

＜記念事業シンボルマークとキャッチフレーズ＞